

大さん橋国際客船ターミナル等指定管理者評価委員会
平成20年度第2回委員会会議録概要

- 1 日 時：平成20年9月24日（水）12：30～17：00
- 2 会 場：大さん橋国際客船ターミナル、みなとみらいさん橋、臨港パーク、
国際交流ゾーン、日本丸メモリアルパーク
- 3 出席者：横内憲久委員、奥水 肇委員、嶋田昌子委員、見瀬賢悟委員、森本靖之委員

（決定事項）

- 1 本日の現地調査を受けて、各施設の評価を依頼します。
- 2 評価シートの原案を委員に送付し、10月10日まで提出して戴きます。

（議事）

○各施設において、現地調査・ヒアリングを実施。
※質疑応答中、管理者とは指定管理者をいいます。

（大さん橋国際客船ターミナル）

委 員：大項目4中項目3の利用実績での「業としての撮影」とありますが、業とはどのような基準での判断をしているのでしょうか。

管理者：撮影成果物を広告写真や映画・テレビのロケ等商業的利用を行う場合を業として判断しています。ヒアリングを行いその場で対応しています。

委 員：料金設定はどうなっていますか。

管理者：広告写真その他静止画は1日につき30,000円、映画その他動画は1日60,000円です。

委 員：大項目5中項目4で、木・金・土曜日に夜間（22時から5時まで）増員して巡回していますが、その理由を教えてください。

管理者：その曜日の利用者が多いためです。

委 員：大項目4中項目11、12のモニタリングの方法とフィードバックについて説明してください。

管理者：方法は、アンケート用紙をインフォメーションデスクに置くのと、Eメールでも受付しています。それらを毎日整理し、対応しています。いただいたご意見については年1回取りまとめ、対応状況についてもホームページ上で公開しています。

委 員：対応した中で代表的なものは何ですか。

管理者：案内看板・注意看板を設置しました。

委 員：入場者数200万人を突破したとのことですが、今後、どれくらいまで伸びると思いますか。また、何をすればもっと伸びると考えていますか。

管理者：入場者数は一つの目安と考えていますが、①客船の寄港数を増やすこと。

②観光スポットとしてアピールすること。③よりよい自主事業・イベントを実施することです。

委員：港湾局と連携して、客船誘致を進めていくのも大事ですね。

管理者：当施設は、観光スポットとしての役割は果たせてきているのではないかと思います。

委員：集客力のあるイベントとしては何がありますか。

管理者：ハワイフェスティバルは、毎年7月に3日間行っていますが、これが、大さん橋ホールだけでなく、C I Qホールや出入国ロビーも会場となり、人が歩かなくなるぐらい非常に賑わうイベントです。

委員：大さん橋国際客船ターミナルは、集客のポテンシャルは、まだあるように思います。今後の努力にも期待します。

(みなとみらいさん橋及び同付属旅客施設)

[質疑応答]

委員：隣接する施設との連絡調整・打ち合わせなど、全体調整の場を持っていますか。

管理者：毎月1回、パシフィコ横浜とイベント等の調整を行うとともに、港湾局との連絡会を持っています。

委員：ぷかりさん橋の大項目3番目運営及びサービスの質の向上の中項目12番目利用者モニタリング結果の反映についてですが、ぷかりさん橋のガラス戸の子供の目線の位置にステッカーが貼ってあるのは、私はいい試みだと思います。外側から貼ってあるのですか。

管理者：両側から貼ってあります。2年前に小さなお子様がガラス戸にぶつかり、幸い怪我にはいたりませんでした。すぐにステッカーを貼って対応しました。

委員：利用者のアンケート結果の反映という意味で、大変いい試みだと思います。

委員：レストランの天井がくすんだり、外のスチールが錆びたりしていて、お客様にとってあまりいい感じではない。海のそばで手入れをよくしないと錆びてしまう。

管理者：錆についてはレストラン側が毎朝磨いていますが、老朽化もあると思います。

委員：シーバスが毎日何便か着岸しており、1階のカウンターでアナウンスし切符の販売をしていますが、それも仕事の範囲ですか。

管理者：運行する船会社が行っています。

委員：ぷかりさん橋のビジターパスの話がありましたが、利用頻度はどのくらいですか。

管理者：18年度は125隻、19年度は234隻、20年度は250隻にはなると思います。

委員：一等地にありますので、是非もっと広報、PR活動をする必要があると思います。

管理者：最近、夢の島からリピーターの方が来ます。また、千葉の方も、横浜港へヨットで行くというのがステータスになっているそうです。

委員：150周年事業の中で、あそこでのヨットのイベント等のプランはあるのですか。

管理者：2階のレストラン、デッキの部分、さん橋を利用したイベントを考えています。

150周年に向けて、賑わいの創出に努力をしていきたいと思ひます。

(臨港パーク・国際交流ゾーン)

[質疑応答]

委員：臨港パークの5番目の利用状況ですが、イベントの利用件数が18年度から19年度にかけて増えています、参加者数が減少しているのはなぜですか。

管理者：19年度に7月の花火大会が中止になり、来場者が約10万人減少となっております。

委員：山下公園前での花火大会でも大勢の人が来るのですか。

管理者：そうです。山下公園は一杯になってしまい、臨港パークの方が見やすいということで、大勢の方が来られます。

委員：広い面積の芝生を良好に維持管理していくのは並大抵のことではないと思ひます。年5回の刈り込みだけでは雑草だらけになると思ひます。もう一度原点に戻ってがんばって欲しいと思ひます。

委員：雑草は必ずしも悪くはないと思ひます。

委員：目標の置き方を考えなくてはいけないと思ひます。マンションができてざっくばらんな使い方が増えてきたが、雑草の多い公園でいいのか。横浜の顔であり、国際的なイベントもあり、レベルの高い要求もあります。目標をどこに置くか覚悟しておかなければいけないと思ひます。専門家と相談しては如何と思ひます。

委員：国際性のある横浜と周辺にマンションがたくさんできて日常性が出てき始めると、この先、臨港パークをどのように考えるのかということだと思ひます。

委員：地域の方たちと連携した活動、盆踊りですが、私は楽観的にいいことだと考えましたが、今のようにラフに使っていけば芝生の状態は低下してしまいます。今後の管理について検討していく必要があります。

委員：地元との交流の話がありましたが、芝生の管理について市民の方たちと連携してアイデアや支援をいただくことを考えたらどうでしょう。

委員：臨港パーク・国際交流ゾーンの大きなイベントは花火大会ですが、花火大会だけに頼らず是非、自主事業でもがんばっていただきたい。指定管理者には少し考えていただいて、5年目には協定が切れると思ひますが、その際には、経験者としていろいろなご提案をいただきたいと思ひます。

(日本丸メモリアルパーク)

[質疑応答]

委員：海洋教室は、どのような組織体制で実施していますか。

管理者：海洋教室は、指導部の大きな事業です。指導部は航海訓練所派遣の現職とOBで構成されており、船長以下全員で取り組んでいます。

委員：指定管理者制度導入前と比較すると、人数は増加してきていますが、利用料金収入はあまり伸びていないように思ひます。単価が安くなったなど、何か理由

がありますか。

管理者：教育委員会に働きかけ、小学生の課外授業で見学していただいております。人数が増えています。また、土曜日は高校生以下無料とし、また、集客プロモーションで割引を行っているので、人数ほど収入が増えていない面があります。

委員：自主事業の工夫に関してですが、地域住民との連携は何か考えていますか。

管理者：日本丸アリーナで様々なイベントを通年で実施しています。特に、吹奏楽演奏会では、近隣の学校に参加いただいております。地域との連携に取り組んでいます。徐々にリピーターは増えていますが、施設の中に入り観覧していただけるかどうかはまた別問題です。

委員：地域と持ちつ持たれつの関係ができればよいですね。

管理者：スタンプラリーやウルトラマンイベントなど、集客増につながる様々なイベントを実施していますが、帆船日本丸やマリタイムミュージアムの中になかなか入っていただけない状況です。

委員：地元の方々にメリットがあるやり方もあるでしょうし、周囲にマンションも増えているので、仕組みづくりが大切だと思います。

委員：帆船日本丸のボランティアは市内の方ですか。

管理者：市内を中心として近郊の方もいらっしゃいます。

委員：「海」で呼び込める人口が減っています。今回 JTB が入ったことで、他都市からも集客することが重要だと思いますが、見通しはどうか。

管理者：信州から子どもたちが海洋教室の体験に来るなど、良い感触を得ています。JTB のネットワークを活用することも重要ですが、まずは市内の子どもたちに体験してほしいと考えています。

委員：選定時には、JTB が入るということが一番のポイントでしたが、入ったことによりどのようなことが最も変わりましたか。

管理者：団体客に占める JTB 取扱いは、平成 17 年度が 495 人、平成 18 年度が 870 人、平成 19 年度が 774 人で、平成 17 年度から平成 18 年度は、200%近い伸びとなっています。

管理者：JTB の店舗出身者にも来てもらっていますので、電話の対応なども随分と変わりました。

委員：今までにない切り口の共同事業体なので、一つのビジネスモデルになれば、他港にも影響を与えるのではないのでしょうか。

委員：JTB の協力があるので、単に集客するだけでなく、海というテーマでの観光や都市型観光を体験するよいチャンスだと思います。財団と JTB と市が親しくし、初心に戻って帆船日本丸の今後を考えていった方がよいと思います。

管理者：ありがとうございます。今年は、ランドマークタワーに泊まった子どもがカタター教室を体験したり、デスティネーションキャンペーンで JR 東日本とのタイアップも行ったりしています。今後もいろいろと取り組んでいきたいです。

委員：海洋教室で説明する内容を文字化して、JTB での売り込みの際に使えるパンフレットなどの資料にしてはどうでしょうか。子どもたちがどういうところに感

動したかということも含めると、よいものになると思います。

管理者：ありがとうございます。少しずつ取り組んでいきたいと思います。

委員：地域の子どもたちを受け入れるのに、市と連携してはどうでしょうか。

委員：今の子どもたちはサービス慣れしているので、こちらから積極的に呼びかけていく必要があるかもしれません。

委員：指定管理者制度に移行して、最も変わった点は何ですか。

管理者：来場者がバラエティに富んできた点と、迎える側のマナーが向上した点です。また、最初に JTB から派遣された担当者がまいてきた種の手ごたえが出つつあります。

委員：JTB 効果がマナーだけでは寂しいので、他のこともがんばってほしいと思います。

委員：指定管理期間の中間地点なので、是非すばらしい施設にしていきたいと思っています。